

「分散参加型 育樹体験プログラム in 苫東・和みの森（5月）」実施の状況

【日 時】 令和3年5月22日（土） 10:10～12:00

【場 所】 苫東・和みの森（苫小牧市字静川）

【参加者】 24名

【プログラム】 施肥3本（ヤマザクラ・クヌギ・クリ各1本）、除伐14本（シラカンバ）

「第58回全国植樹祭」を開催した記念の地「苫東・和みの森」で、コロナ禍でも、誰もが気軽に、かつ、安全に参加できる「分散参加型 育樹体験プログラム」を実施しました。

<分散参加型とは>

「異なる日時に」、「分散した場所で」、「好きな活動を」、「少人数で距離を保ちながら」体験できる！



（ 苗木を植えて、施肥もやるぞ！ ）

最初に、今年10月開催の「全国育樹祭お手入れ会場」で、島根県から贈呈された**苗木の植樹**にあわせて、土と堆肥を混ぜながら**施肥**をしました。

堆肥は「苫東・和みの森」のオリジナルです。「月に一度は森づくり」などの活動（除伐木の運搬、子どもとのふれあい等）で活躍しているお馬さんの馬ふん、ワラや枯れ葉を混ぜ、熟成させて作られたものです。



（ 早く大きくな～れ ）

次に、「第58回全国植樹祭」(H19)で植樹したシラカンバ14本を**除伐**しました。

参加者は、慎重に手のこを入れて、あらかじめ選んである曲がりのある木や生長が良くない木を伐採しました。

今回、**葉を採取**し、「大人の木育」(ジンプロジェクト)の材料として使われます。

「苫東・和みの森」の活動では、森の木がより良く育つためのお手伝いをするとともに、森の恵みを利用する循環づくりを目指しています。



（ お母さんと一緒に森づくり ）



（ 除伐ならおまかせ ）



（ 葉も大事に使います ）